



## リコーの環境経営について

株式会社リコー 社会環境本部  
環境コミュニケーション推進室長 益子 晴光氏



### 持続可能な社会の実現に向けて 地球の許容範囲を知り、抑制を図る

当社では、早くから環境に配慮した活動に注力してまいりました。現会長の桜井正光が1996年に社長に就任し、まもなく「環境経営」を提唱し、更に積極的に取り組みを進めるようになりました。リコーグループが取り組んでいる環境保全活動は、持続可能な社会の実現を目的に行っています。そして、それを実現するためには、社会活動による環境負荷を地球環境の許容範囲内に抑える必要があります。

エコロジカルフィットプリントという指標では、既に人間社会の活動が地球環境における許容範囲を30%を超えていると言われております。当社では2050年に環境負荷が許容範囲に入った状態を目指して、環境保全活動を推進しています。リコーの事業領域全体で発生する環境負荷を見ると、お客様が製品をお使いになる際に使用する紙の製造に関する環境負荷と電力による環境負荷が大きいことが分かり、社内の付加削減活動だけでなく、お客様に製品使用時のCO<sub>2</sub>発生量のレポートを提供し、省エネモードや両面コピーの仕様などを提案させていただいております。



更に詳しい活動内容はHPの環境経営報告書をご覧ください。<http://www.ricoh.co.jp/ecology>

#### リコーの環境経営における取り組み

- ① 工場のCO<sub>2</sub>削減 …生産プロセスの革新
- ② 工場の廃棄物削減 …事業所のごみゼロ  
水資源節約の技術開発  
新しい洗浄技術の開発
- ③ 製品の省エネルギー化によるCO<sub>2</sub>削減 …QSU技術  
※コピー機の省エネモードからプリント可能になるまでの待ち時間短縮と省エネ効果を高める技術  
カラーQSU技術  
複写機の省エネモードの活用  
CO<sub>2</sub>見える化プロジェクト活動
- ④ 製品の省資源・リサイクル …リサイクル対応設計  
包装の簡素化を可能にする製品設計  
製品梱包の環境配慮(循環型エコ包装)  
製品の再生・再利用  
資源・部品投入の環境負荷の削減  
バイオマスプラスチックの活用

### 現代社会における環境経営の ポイントとその効果

これらの環境保全活動の始まりは、①法規制などへの対応から、②地球環境を保全するために自主的に高い目標を掲げ、③利益創出と環境保全を同軸で考える「環境経営」へと展開してきました。リコーの環境経営のこだわりは、以下のようになります。

1. 長期的・総合的な視点をもった、実効のある環境保全活動を実践
2. 環境保全活動を通して、経済的価値の創出
3. 環境保全活動を通して、お客様へお役立ち
4. 経営者のリーダーシップと全員参加活動
5. 環境技術開発
6. パートナーシップとコミュニケーションによって社会から信頼を得る



杉野研究協会の会長(写真中央)も、興味深そうに見ていました。



学生も多く参加しており、有益な交流の場となりました。



### ポスターセッション



参加者は、興味深そうに展示パネルをみて、各々意見交換していました。

### 平成22年度地域産学官連携強化支援事業 とやま産学官金交流会2010



平成22年12月7日(火) 富山国際会議場において、とやま産学官金交流会2010～大変革期におけるものづくり企業の経営戦略と産学官金連携～が開催されました。当日は、ホンダDNAを継承して海外事業に挑む～中国事業立ち上げの経験为例に～と題して、門脇轟二氏から講演がありました。

#### 分科会セッションC『アンチエイジング～医薬品・食品の開発および健康関連産業の活性化～』

### 製品化・企業化におけるリスクに理解を求め！ グローバル展開を視野に入れた消費者と価値を共有

広く健康に関する産業を活性化させるために産学官金連携をいかに築いていくべきかが議論されました。パネリストが取り組み事例を発表する中で、やはり製品化・企業化にはリスクが伴い、資金面における金融の理解が必要であるという呼びかけがありました。また、流通構造の変化に伴って、消費者との価値の共有が今後の健康関連産業におけるポイントとなっていくであろうという意見がありました。最後に、産学連携においてできあがった商品サービスもグローバルに展開していく必要があり、それにより県内企業の活性化と雇用の促進に繋がっていくとまとめられました。

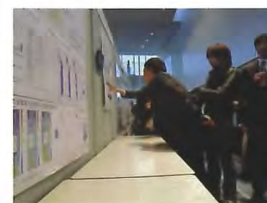


座長を務める榎教授



座長: 榎 利之(富山県立大学 工学部 生物工学科教授)  
副座長: 大野正廣氏(廣貴堂 取締役)  
パネリスト: 上馬場和夫氏  
(富山大学 和漢医薬学総合研究所 客員教授)  
浦田哲郎氏  
(医療法人ホスピター 浦田クリニック/スクール理事長)

#### ものづくり関連機関によるポスターセッション



富山県内におけるものづくり企業・大学・関連機関のポスターセッションが行われ、富山県立大学の教員・学生が参加者と交流しました。

